

## 〈事業報告〉

### I 事業状況

#### 1. 日独学術文化に関する研究並びにその助成（定款第4条第1項第1号）

##### 〈第29回公開シンポジウムの開催〉

###### (1) 開催日と場所：

令和元年10月20日（日） 京都大学吉田キャンパス 法経本館第4教室

###### (2) 参加者： 70名

###### (3) テーマ： 連続テーマ「文明」の3回目として「文明と芸術／美術——古代ギリシア・ローマ世界とイスラーム世界」。

###### (4) 基調講演：

- ・芳賀京子氏（東京大学准教授）：「古代ギリシア・ローマ美術：神々と人の姿」
- ・榊屋友子氏（東京大学教授）：「イスラーム美術：宗教が生み出した美の世界」

###### (5) 討論：

- ・コメンテーター：山極壽一氏（京都大学総長・本法人名誉顧問）
- ・司会：大橋良介氏（本法人所長）

参加者からの質疑等もあり、活発な討論が展開された。

#### 2. 日独学術文化に関する図書雑誌の編集及び出版刊行（定款第4条第1項第2号）

##### 〈年報の刊行 令和元年度年報『文明と哲学』第12号〉

###### (1) 刊行月・出版社： 令和2年3月、こぶし書房

###### (2) 編集代表： 谷徹理事

###### (3) 内容：

[特集 コンパシオーンのロゴス]

###### 【対談】

- ・井上達夫×高山佳奈子「公正さと道徳的想像力——『立憲主義という企て』をめぐって」

###### 【論考I】

- ・大橋良介「異自然と反自然——自然荒廃のより深い原因について」
- ・谷徹「生・ロゴス・パトス」
- ・秋富克哉「ハイデッガーにおけるディオニュソス」

- ・高田篤「起草者・解釈者・裁判官・理論家としてのケルゼン——法律による行政（Legalitätsprinzip / Gesetzmäßigkeit der Verwaltung）をめぐって」
- ・安部浩「和辻倫理学の初心——道心から慈悲の行へ（二）」
- ・水野友晴「和辻哲郎「湿潤」と、寺田寅彦「天然の無常」——日本思想におけるコンパシオン（悲）の思想土壌に関する一試論」

#### 【論考 II】

- ・関口浩「古代の英雄について——ヘルダーリンと折口信夫」
- ・坂本学史「フランクフルト学派とアメリカ刑法学」
- ・高山佳奈子「タトゥー医師法裁判と罪刑法定主義」
- ・吉川孝「道徳的経験としての声を聴くこと——土本典昭における水俣病患者の声」
- ・根無一行「盲目的臆病さについて——レヴィナス、ヴェイユ、カミュ」

#### 【公開シンポジウム「文明」】

- ・松井孝典「文明は見えない世界がつくる」
- ・川勝平太「近代文明の生成と海」

#### 〈公開シンポジウム成果報告集 〈言葉〉〉

- (1) 刊行月・出版社： 令和元年 10 月、こぶし書房
- (2) 編集代表： 大橋良介所長
- (3) 内容：

##### 【第一部 「言葉」の宇宙（2013 年度）】

- ・第一章 高橋輝暁「言葉が宇宙を創る——はじめに言葉ありきの国と言霊の幸はふ国」
- ・第二章 小川暁夫「Es の宇宙——言い得ないものが言葉になる時」

##### 【第二部 「言葉」の宗教的深層（2014 年度）】

- ・第三章 大峯顯「仏についての言葉と仏である言葉」
- ・第四章 芦名定道「キリスト教思想と宗教言語——象徴・隠喩・テキスト」

【第三部 翻訳としての「言葉」(2015年度)】

- ・第五章 初宿正典「《翻訳文化としての法律学》閑話」
- ・第六章 貫成人「踊りを翻訳する——バレエと暗黒舞踏を糸口に」

【第四部 「言葉」の襞(2016年度)】

- ・第七章 長谷川郁夫「言葉の襞I」
- ・第八章 中沢けい「言葉の襞II」

3. 日独学術文化に関する講習会、講演会及び談話会等の開催(定款第4条第1項第3号)

〈哲学講座「初夏講座」〉

(1) 開催日と場所:

- 第1回: 令和元年5月31日(金)
- 第2回: 同6月21日(金)
- 第3回: 同6月28日(金)
- 第4回: 同7月5日(金)
- 第5回: 同7月12日(金)
- 第6回: 同7月26日(金)

会場はいずれも公益財団法人日独文化研究所セミナー室

(2) 受講者: 12名(学生・院生・OD5名、一般7名)

(3) 講師: 杉村涼子氏(京都産業大学教授)

(4) テーマ: 「トーマス・マンの世界」

〈哲学講座「錦秋講座」〉

(1) 開催日と場所:

- 第1回: 令和元年11月2日(土)
- 第2回: 同11月2日(土)
- 第3回: 同11月9日(土)
- 第4回: 同11月9日(土)
- 第5回: 同11月30日(土)
- 第6回: 同11月30日(土)

会場はいずれも公益財団法人日独文化研究所セミナー室

- (2) 受講者： 36名（学生・院生・OD8名、一般28名）
- (3) 講師： 安部浩氏（京都大学教授、本法人評議員）
- (4) テーマ： 「てつがくはでっかく」

#### 〈哲学講座「初春講座」〉

- (1) 開催日と場所：

第1回： 令和2年1月29日（水）

第2回： 同2月5日（水）

第3回： 同2月12日（水）

※なお、第4回から第6回については、Covid-19による社会情勢を鑑みて延期。

※会場はいずれも公益財団法人日独文化研究所セミナー室

- (2) 受講者： 30名（学生・院生・OD16名、一般14名）
- (3) 講師： 杉山卓史氏（京都大学教授）
- (4) テーマ： 「美学、その誕生と展開」

#### 4. 日独学術文化に関する図書及び資料の収集並びに公開（定款第4条第1項第4号）

##### 〈所報の発行〉

- (1) 刊行年月： 令和元年10月（第8号）
- (2) 内容： 本法人の活動内容や事業報告を、一般の人々にもわかりやすいようにとりまとめ、賛助会員をはじめ、事業参加者などに配布。  
また、令和2年4月以降、本法人ホームページでも公開予定。

##### 〈地下書庫の整理〉

内容： 地下書庫の蔵書を整理し、日独学術文化に関する図書及び資料の収集並びに公開のために活用できる空間を、所長の指揮のもとで整備している。蔵書数は令和2年3月31日現在で2,069冊であることを確認している。

#### 5. 日独学術文化に関する研究者の招待、派遣及び交換（定款第4条第1項第5号）

国内の学会、大学と連携して、主にドイツから学者を招へいし、講演会等を予定していたが、Covid-19による社会情勢を鑑みて延期した。

● 公益事業別の事業実績の内容内訳（単位：円）

平成 31～令和元年度（平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日） 減価償却費を雑費他に含む。

定款第4条	事業内容	給料手当	福利厚生費	諸謝金	会議費	旅費交通費	通信費	消耗品費	印刷製本費	支払手数料	雑費他	計
研究並びにその助成	公開シンポジウム	-	-	222,740	27,230	97,759	5,224	-	93,891	1,100	-	447,944
編集及び出版刊行	年報・成果報告集	-	-	-	-	25,660	26,619	-	2,934,358	1,800	-	2,988,437
講習会・講演会等	哲学講座	-	-	417,640	-	15,050	118,327	2,973	203,314	440	-	757,744
資料の収集公開配布	所報・書庫	-	-	-	-	-	3,514	-	60,500	-	-	64,014
研究者の招待・派遣等	学術交流	-	-	25,659	4,961	-	2,044	-	-	-	-	32,664
職員人件費等		2,570,208	365,843	-	-	-	156,158	62,738	-	-	33,886	3,188,833
合計		2,570,208	365,843	666,039	32,191	138,469	311,886	65,711	3,292,063	3,340	33,886	7,479,636

## II 登記、届出、報告事項等

1. 令和元年6月26日 内閣府に事業報告等に係る提出書を提出。
2. 令和2年3月10日 内閣府に事業計画等に係る提出書を提出。

### Ⅲ 職務の概要

#### 1. 役員の変動

なし。

#### 2. 理事・監事に関する事項 平成 31～令和元年度（令和 2 年 3 月 31 日現在）

理事定数 6 名以上 8 名以内 現在 非常勤 6 名 任期 2 年  
監事定数 2 名以内 現在 非常勤 2 名 任期 2 年

役職名	氏名	常勤・非常勤の別	就任年月日	再任年月日	任期	現職名
理事 (理事長 (代表理事))	秋富 克哉	非常勤	理事就任： H26. 4. 1 代表理事就任： H28. 7. 4	H30. 6. 27 代表理事再任： H30. 6. 27	令和元年度 に関する定 時評議員会 の終結の時 まで	京都工芸繊維大学大学院 工芸科学研究科教授
理事 (所長 (代表理事))	大橋 良介	非常勤	理事就任： H26. 4. 1 代表理事就任： H27. 10. 16	H30. 6. 27 代表理事再任： H30. 6. 27	令和元年度 に関する定 時評議員会 の終結の時 まで	京都工芸繊維大学名誉教 授 本研究所所長 (代表理事)
理事 (常務理事)	高田 篤	非常勤	H26. 4. 1	H30. 6. 27	令和元年度 に関する定 時評議員会 の終結の時 まで	大阪大学大学院法学研究 科教授
理事	小川 暁夫	非常勤	H26. 4. 1	H30. 6. 27	令和元年度 に関する定 時評議員会 の終結の時 まで	関西学院大学文学部教授
理事	谷 徹	非常勤	H26. 4. 1	H30. 6. 27	令和元年度 に関する定 時評議員会 の終結の時 まで	立命館大学文学部教授
理事	和田 信	非常勤	H28. 6. 22	H30. 6. 27	令和元年度 に関する定 時評議員会 の終結の時	大阪国際がんセンター心 療・緩和科部長

					まで	
監事	高山佳奈子	非常勤	H26.4.1	H30.6.27	令和元年度に関する定時評議員会の終結の時まで	京都大学大学院法学研究科教授
監事	津野紀代志	非常勤	H28.10.10	H30.6.27	令和元年度に関する定時評議員会の終結の時まで	公認会計士

\*役員は無給（定款第28条）

### 3. 評議員に関する事項 平成31～令和元年度（令和2年3月31日現在）

評議員定数 6名以上8名以内 現在 非常勤 7名 任期4年

役職名	氏名	常勤・非常勤の別	就任年月日	再任年月日	任期	現職名
評議員	安部 浩	非常勤	H29.6.21	H30.6.27	令和3年度に関する定時評議員会の終結の時まで	京都大学大学院人間・環境学研究科教授
評議員	阿部 光幸	非常勤	H26.4.1	H30.6.27	令和3年度に関する定時評議員会の終結の時まで	京都大学名誉教授 兵庫県立粒子線医療センター名誉顧問
評議員	木村 敏	非常勤	H26.4.1	H30.6.27	令和3年度に関する定時評議員会の終結の時まで	京都大学名誉教授 河合文化教育研究所所長
評議員	初宿 正典	非常勤	H26.4.1	H30.6.27	令和3年度に関する定時評議員会の終結の時まで	京都大学名誉教授
評議員	西川 伸一	非常勤	H28.10.10	H30.6.27	令和3年度に関する定時評議員会の終結の時まで	NPO法人オール・アバウト・サイエンス・ジャパン代表理事



評 議 員	松丸 壽雄	非常勤	H26. 4. 1	H30. 6. 27	で 令和3年度に 関する定時 評議員会の 終結の時ま で	獨協大学名誉教授 ドイツ恵光日本文化センタ ー所長
評 議 員	森 哲郎	非常勤	H26. 4. 1	H30. 6. 27	で 令和3年度に 関する定時 評議員会の 終結の時ま で	京都産業大学文化学部教授

\*評議員は無給（定款第13条）

#### 4. 顧問・名誉顧問に関する事項 平成31～令和元年度（令和2年3月31日現在）

顧問・名誉顧問 現在 非常勤 4名

役職名	氏 名	常勤・非常勤の別	就任年月日	再任年月日	任 期	現職名
名誉顧問	千 玄室	非常勤	H29. 4. 14	—		裏千家大宗匠
名誉顧問	ヘルムート・シュヴァルツ	非常勤	H29. 4. 14	—		アレクサンダー・フォン・フンボルト財団前理事長
名誉顧問	堀場 厚	非常勤	H29. 4. 14	—		株式会社堀場製作所代表取締役会長兼グループCEO
名誉顧問	山極 壽一	非常勤	H28. 10. 10	—		京都大学総長

\*顧問・名誉顧問は無給（定款第41条）

\*名誉顧問については、任期の定めなし。

#### 5. 研究員に関する事項 平成31～令和元年度（令和2年3月31日現在）

研究員 現在 非常勤 2名 任期1年

役職名	氏 名	常勤・非常勤の別	採用年月日	任 期	備 考
研究員	坂本 学史	非常勤	R1. 5. 20	R2. 3. 31まで	
研究員	関口 浩	非常勤	R1. 5. 20	R2. 3. 31まで	

\*研究員は無給（研究員規程第10条）

6. 職員に関する事項 平成31～令和元年度（令和2年3月31日現在）

職名	氏名	就職年月日	担当事務	備考
事務局長	水野 友晴	H26. 3. 25	事務総括	
事務局員	田邊 正俊	H27. 4. 1	事務補助	

7. 認可、許可、承認等に関する事項

特になし

8. 契約に関する事項

特になし

9. 賛助会員年会費、寄附金に関する事項

総件数 43件 総金額 516,500円

(内訳)

賛助会員年会費	(法人)	13件	380,000円
	(個人)	30件	136,500円
寄附金	(法人)	0件	0円
	(個人)	0件	0円

#### IV 役員会に関する事項

区分	開催年月日	議 事 事 項	会議の 結 果
理事会 (第26回)	令和元年5月20日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平成30年度事業報告及び決算書類を承認決定する件</li> <li>2. 規程の一部修正を行う件 公益財団法人日独文化研究所 公印取扱規程 公益財団法人日独文化研究所 研究不正防止規程</li> <li>3. 「公益財団法人日独文化研究所 間接経費の使用に関する方針」を策定する件</li> <li>4. 令和元年度の研究員の採用の件</li> <li>5. いざなみ監査法人との外部任意監査の契約を更新する件</li> <li>6. 定時評議員会を招集する件</li> </ol> <p>報告事項1. 理事長及び所長の職務の執行状況についての報告</p> <p>報告事項2. 公開シンポジウム成果報告集「ことば」の制作の進捗について</p> <p>報告事項3. 第29回公開シンポジウムの準備状況についての報告</p> <p>報告事項4. 年報『文明と哲学』第11号を刷り直したことの報告</p> <p>報告事項5. 「年報『文明と哲学』の売上金が印税として執筆者に支払われることはない」ことを証明したことの報告</p> <p>報告事項6. 「共生のパトス」論集の構想について</p> <p>報告事項7. 国際シンポジウム「コンパシオン」の計画について</p> <p>報告事項8. 賛助会員の入退会状況の報告</p>	<p>一部修正のうえ可決 可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p>
評議員会 (第11回)	令和元年6月4日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平成30年度の事業報告、貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算書）及び財産目録を承認する件</li> <li>2. 令和元年度に基本財産最大1,000万円を取崩して、公益目的事業及び法人管理のための資金に充当することを承認決定する件</li> </ol>	<p>可決</p> <p>可決 (特別決議)</p>

<p>理事会 (第 27 回)</p>	<p>令和 2 年 2 月 14 日</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和 2 年度事業計画案及び予算案等を承認決定する件</li> <li>2. 令和 2 年度に基本財産最大 1,000 万円を取崩して、公益目的事業及び法人管理のための資金に充当することを承認決定する件。ただし、評議員会の承認を得ることを条件とする。</li> <li>3. 令和 2 年度における研究員の採用計画を協議する件</li> <li>4. ゲーテ・インスティトゥート大阪・京都館長、ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川館長エンツィオ・ヴェッツェル氏を顧問に選任する件</li> <li>5. 水野友晴現事務局長を顧問に選任する件</li> <li>6. 事務局長を選任する件</li> <li>7. 臨時評議員会を招集する件</li> </ol> <p>報告事項 1. 理事長及び所長の職務の執行状況についての報告</p> <p>報告事項 2. 基本財産の一部取崩しの報告</p> <p>報告事項 3. 令和 2 年度（第 30 回）公開シンポジウム提題者及び日程の報告</p> <p>報告事項 4. デュッセルドルフ・恵光ハウス、ハノーヴァー哲学研究所、テュービンゲン大学学術フォーラム、京都・日独文化研究所の四機関による共同開催国際シンポジウム「仏教とキリスト教の〈自然〉概念」を実施することの報告（令和 2 年 7 月、於デュッセルドルフ及びハノーヴァー、資金は公益財団法人仏教伝道協会の助成による）</p> <p>報告事項 5. 賛助会員の入退会状況の報告</p> <p>報告事項 6. 今後の日独文化研究所のあり方についての若干の報告</p>	<p>可決</p> <p>可決 (特別決議)</p> <p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決 可決 可決</p>
<p>評議員会 (第 12 回)</p>	<p>令和 2 年 3 月 3 日</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和 2 年度に基本財産最大 1,000 万円を取崩して、公益目的事業及び法人管理のための資金に充当することを承認決定する件</li> <li>2. ゲーテ・インスティトゥート大阪・京都館長、ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川館長エンツィオ・ヴェッツェル氏を顧問に選任する件</li> <li>3. 水野友晴現事務局長を顧問に選任する件</li> </ol>	<p>可決 (特別決議)</p> <p>可決</p> <p>可決</p>

## V 事業報告の付属明細書について

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する事業報告の内容を補足する重要な事項は特にないため、付属明細書は作成を省略する。